

2022年度

事業報告書

自：2022年4月 1日

至：2023年3月31日

東京都港区芝公園4丁目7番4号
公益財団法人 三康文化研究所

目 次

I. 事業の状況	2
1. 公開講座	2
2. 研究座談会	2
3. 研究会	2
4. 研究冊子の刊行	3
5. 学会参加	3
6. 附属図書館(三康図書館)	3
7. その他の事業(不動産賃貸事業)	11
8. その他事項	11
II. 処務の概要.....	11
1. 役員等に関する事項	11
2. 会議に関する事項	11

I. 事業の状況

1. 公開講座

2022年度も新型コロナウイルス感染症感染防止対策(以下感染防止対策と記す)のためオンライン(Zoomミーティング、YouTube)にて開催した。2021年度に引き続きホームページ、Facebook(フェイスブック)、及びTwitter(ツイッター)にて案内し、さらに大学、研究機関、新聞社等へ開催案内を事前に送付した。その結果、前年度以上により広い分野の方が聴講し、新聞記事にあっては、宗教専門紙である「中外日報」(株式会社中外日報社発行)、及び「仏教タイムス」(株式会社仏教タイムス社発行)にて公開講座の開催案内と発表内容について掲載された。

開催年月日	題 目	発表者	聴講申込者数
2022年5月30日	①「釈迦の用いた比喻を読み解く」	古宇田亮修研究員	38名 アーカイブ視聴回数:
	②「知恩院三門の戴冠仏」	西村実則研究員	34回
2022年10月24日	①「中国の浄土教僧 曇鸞大師について」	石川琢道研究員	55名 アーカイブ視聴回数:
	②「善導教学の再解釈」	柴田泰山研究員	54回
2023年2月6日	①「法然上人の思想形成」	林田康順研究員	78名 アーカイブ視聴回数:
	②「浄土宗関東十八檀林の確立」	宇高良哲研究指導員	92回

2. 研究会

当法人の研究員が、インド学、仏教学、及び仏教文化に関する研究について、闊達な意見を交わす会。2022年度は、感染防止対策のため、実施せず。

3. 研究会

種 目	開催年月日	研 究 内 容	研究会メンバー
原典研究会 担当者 西村実則研究員 古宇田亮修研究員	自2022年5月12日 至2023年1月19日 (研究室にて開催) 計3回	梵本・パーリ本の仏典の 輪読と校合	大南龍昇(元大正大) 佐藤堅正(大正大) 石田一裕(〃) 西村実則(研究員) 古宇田亮修(研究員) 以上5名

<p>日本仏教史 研究会</p> <p>担当者 宇高良哲研究指導員</p>	<p>2022年度は全体での研究会は実施せず</p>	<p>増上寺・蓮馨寺・喜多院・千妙寺などの史料を整理研究 (2022年度は宇高良哲研究指導員のみで以下を実施) ①増上寺史料添簡の整理 ②『川越喜多院所蔵天海大僧正のお手紙と證文』の史料整理)</p>	<p>小此木輝之(元大正大) 吉水成正(〃) 中川仁喜(大正大) 中野真理子(元増上寺) 柴田泰山(研究員) 宇高良哲(研究指導員)</p> <p>以上6名</p>
<p>浄土教典籍 研究会</p> <p>担当者 林田康順研究員 柴田泰山研究員 石川琢道研究員</p>	<p>自2022年10月28日至2023年3月9日(オンライン開催) 計6回</p>	<p>了恵撰 『天台菩薩戒義疏見聞』の研究</p>	<p>林田康順(研究員) 柴田泰山(〃) 石川琢道(〃)</p> <p>以上3名</p>

4. 研究冊子の刊行

- ① 所報第五十七号 (A5判・42頁・200部) 2022年6月15日発行
- ② 年報第五十三号 (A5判・222頁・300部) 2022年5月31日発行

5. 学会参加

宇高良哲 なし

西村実則 日本印度学仏教学会(オンライン参加)、浄土宗総合学術大会(オンライン参加)

林田康順 浄土学研究会学術大会(オンライン参加)、日本印度学仏教学会(オンライン参加)、浄土宗総合学術大会(オンライン参加)、日本仏教学会学術大会(オンライン参加)、仏教文化学会(オンライン参加)

柴田泰山 浄土学研究会学術大会(オンライン参加)、日本印度学仏教学会(オンライン参加)、浄土宗総合学術大会(オンライン参加)、浄土学研究会公開講座(オンライン参加)

石川琢道 浄土学研究会、日本仏教学会、浄土宗総合学術大会、日本印度学仏教学会(オンライン参加)、東アジア仏教研究会

古宇田亮修 日本印度学仏教学会(オンライン参加)、千葉・関東地域社会福祉史研究会、地域社会福祉史研究会連絡協議会・研究交流会(オンライン参加)

6. 附属図書館(三康図書館)

1966年に開館して以来56年を経過した。利用者の需要を分析し、その結果を踏まえ、利用者の期待を上回る「蔵書の整備」、「学習、調査、研究などに関する質問への回答」や「情報の提供」などにより一層のサービス向上を図り、充実した図書館運営を目指している。

また、2020年度から続く新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、2022年度も政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」、東京都の「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」、公益社団法人日本図書館協会の「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、「三康図書館開館指針」、及び「対応細則」（2020年6月5日作成）に基づき、感染防止対策の徹底を図り、三康図書館の利用者ならびに従業員の健康と安全確保に努めて図書館を運営した。

(1) 開館時間

通常は9:30～17:00のところ、感染防止対策のため次の通り変更した。

変更：①11:30～15:30(2022年4月1日～4月24日)

「リバウンド警戒期間における取組」（東京都）実施のため

②11:30～16:30(2022年4月25日～5月22日)

「リバウンド警戒期間における取組」（東京都）は継続していたが、政府の「基本的対処方針」において「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」と「経済対策の円滑な実施」への取組の両立を目指す「Withコロナ政策」が示されたため

③10:30～16:30(2022年5月23日～11月6日)

「リバウンド警戒期間における取組」が終了し、政府の「基本的対処方針」においても引き続き「Withコロナ政策」が継続されたことから段階的に開館時間を通常に戻すことを目指したため

④10:30～17:00(2022年11月7日～2023年3月10日)

政府の「Withコロナ政策」の浸透に伴い、行動制限への要請も緩和されたため

⑤9:30～17:00(2023年3月13日以降) 通常開館に戻る

政府の「Withコロナ政策」の浸透に伴い、「マスク着用について」個人の判断に委ねることになったこと、さらに当法人の新たな取り組みと相俟って利用者数も著しく増加したことから、利用者の要望に応えるため

(2) 閲覧席利用者数

通常：定員36名

変更：最大4名(2022年4月1日～2022年7月11日)

最大8名(2022年7月12日以降)

2022年7月11日まで閲覧席利用者数の上限を4名としていたが、利用者の増加に伴い日本図書館協会「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」（2022年6月22日更新）に基づき、席の配置や換気効率を高める対策を実施し、席数を増加した

(3) 管理・人事

①書庫・資料管理

○書庫管理 各書庫の定点温湿度測定と、定期的な清掃を実施した

○消毒 虫害対策として、専門業者による書庫の消毒、及び点検を実施した

○資料保存 専門業者による酸性化した雑誌202冊分の脱酸処理と破損部補修、虫損の写本1冊の修理、破損図書9冊分の製本修理を実施した

(4) 資料受入

2022年度受入分は次の通りである。

① 図書

1. 購入 152冊
2. 寄贈 138冊
1. 及び2. の合計 290冊
3. 除籍 0冊

② 雑誌

1. 新規継続購入 0タイトル
2. 新規継続寄贈 1タイトル
1. 及び2. の合計 1タイトル
3. 追加入力雑誌 1タイトル
4. 欠号分等補充購入 1タイトル(15冊)
すべて所蔵雑誌の欠号補充
5. 欠号分等補充寄贈 1タイトル(3冊)
すべて所蔵雑誌の欠号補充
6. 除籍 0タイトル

2022年度の受入により当館所蔵の図書、及び雑誌の総数は次の通りとなった。

図書総数 260,800冊

雑誌総数 7,131タイトル

雑誌総数には、今まで図書扱いであった資料が、雑誌扱いに変更された際のタイトル数も含まれる

(5) 蔵書資料のデータベース作成と公開

2023年3月31日現在までの状況は次の通りである。

① データベース作成中の分野

- ※旧大橋図書館の蔵書
地理・地誌、自然科学、文学
- ※三康図書館設立以降に受け入れた蔵書
新規受入図書・雑誌、湯山文庫(外国語図書)

② インターネット公開

- 蔵書検索で検索可能な分野
- ※旧大橋図書館の蔵書
総記、宗教・哲学、政治、法律、経済、財政、統計、社会学、風俗習慣・民俗学、国防・軍事、産業、芸術、児童書、閲覧禁止本(憲秩素本)、自然科学の一部、工学の一部、雑誌
- ※三康図書館設立以降の蔵書
新刊受入図書(2001年度以降受入分)、雑誌、同人誌、椎尾文庫、湯山文庫(日本語図書・雑誌)
- 書名50音リストで検索可能な分野
歴史、伝記、教育、語学

③既刊蔵書目録(冊子体目録)

哲学・宗教編、地理・地誌編、文学編、欧文書編、漢籍編、国書編、児童書編、雑誌、
内田文庫、椎尾文庫、増谷文庫

(6)利用者へのサービス

①図書館利用状況

○図書館開館日数 237日

○図書館利用者数 2,233名

※内訳(重複あり)

- ・閲覧室利用者数 606名 (書庫内保管図書・雑誌利用者 205名)
- ・書庫見学者数 248名
- ・ミニ展示見学者数 1,319名
- ・蔵書紹介(ディスプレイラック)見学者数 477名
- ・特集展示コーナー見学者数 188名
- ・研究員による所蔵資料の紹介コーナー見学者数 221名
- ・明德幼稚園の園児制作絵画見学者数 47名

○書庫内保管図書・雑誌の利用総冊数 3,378冊

(図書1,111冊、雑誌2,267冊(102タイトル))

○文書等による図書の調査(レファレンス)件数 135件

○文献複写(電子式)申込件数 100件(2,932枚)

○文献複写(写真撮影)申込件数 21件(485コマ)

○複製物掲載申込件数 11件(74点)

○翻刻申込件数 0件

②資料の展示

感染防止対策に留意しながら、下記の展示を実施した。

○ミニ展示(展示ケースを使用しロビーにて実施)

展 示 名	資料種類・冊数	開催時期
うららかな春	一枚物4点	2022年4月1日～4月28日
新東京百景	一枚物26点(展示替え4回)	2022年5月2日～6月3日
雨の中の人	一枚物10点(展示替え2回)	2022年6月7日～7月1日
お菓子と料理	図書5冊・一枚物32点 (展示替え4回)	2022年7月4日～7月29日
発禁本と閲覧禁止本	図書6冊・雑誌3冊・ 事務用カード目録 2点	2022年8月1日～9月2日
関東大震災	卷子本1巻・図書6冊	2022年9月5日～9月30日
鉄道絵と沿線図	図書2冊・一枚物4点	2022年10月3日～10月31日
方丈記絵巻 ～描かれた『方丈記』の世界～	卷子本1巻・図書2冊 (展示替え6回)	2022年11月1日～12月2日

生誕150年 戦前のジャーナリスト 杉村楚人冠	図書17冊・雑誌2冊	2022年12月5日～12月27日
『江戸名所図会』に描かれた 江戸・江戸郊外の景観	卷子本2巻・図書4冊	2023年1月5日～2月3日
日本最初の都市公園	図書3冊・一枚物2点 新聞1点・雑誌2冊	2023年2月6日～3月3日
五節供を感じる	図書5冊・一枚物3点	2023年3月6日～4月7日(予定)

○蔵書紹介(ディスプレイラックを使用し閲覧室にて実施)

展 示 名	資料種類・冊数	開催時期
旧大橋図書館を知っていますか? Part1 図書館の設立	図書10冊	2022年4月1日～4月28日
旧大橋図書館を知っていますか? Part2 震災復興から戦後へ	図書11冊	2022年5月2日～6月3日
旧大橋図書館を知っていますか? Part3 閉館、そして三康図書館へ	図書9冊	2022年6月7日～7月1日
戦前のレシピ本	図書6冊	2022年7月4日～7月29日
戦前の教育書	図書12冊	2022年8月1日～9月2日
戦前のスポーツ	図書13冊	2022年9月5日～9月30日
戦前の旅行書	図書6冊	2022年10月3日～10月31日
戦前の文化と名のつく本	図書34冊	2022年11月1日～12月2日
戦前の音楽書	図書12冊	2022年12月5日～12月27日
戦前の美術書	図書10冊	2023年1月5日～2月3日
戦前の娯楽	図書9冊	2023年2月6日～3月3日
戦前の写真帖	図書6冊	2023年3月6日～4月7日(予定)

○特集展示コーナー(書架を使用し閲覧室にて実施)

展 示 名	資料種類・冊数	開催時期
春と食べ物の絵本	図書16冊	2022年2月21日～4月28日
海と山の絵本	図書18冊	2022年5月9日～8月26日
〇〇の秋、絵本	図書18冊	2022年9月1日～11月30日
冬と行事の絵本	図書12冊	2022年12月1日～ 2023年3月31日

○研究員による所蔵資料の紹介コーナー（書架を使用し閲覧室にて実施）

テーマ	冊数	企画研究員	開催時期
和辻哲郎の『古寺巡礼』	4冊	柴田泰山	2022年3月1日～5月31日
釈迦の用いた比喻を読み解く	1冊	古宇田亮修	2022年6月1日～8月31日
中国の浄土教僧・曇鸞大師について	1冊	石川琢道	2022年9月1日～11月30日
浄土宗第一の聖典 —『選択集』—を学ぼう	2冊	林田康順	2022年12月1日～ 2023年3月31日

③三康図書館ホームページ

2000年7月に開設したホームページを、2019年10月25日にリニューアルし、当館の紹介や蔵書検索の充実に努めている。

○アクセス数

2023年3月31日までの総アクセス数 268,534件

2022年度1年間のアクセス数 47,032件（対前年度比 17,238件増）

○蔵書検索

現在ホームページからの蔵書検索は、書名、著者名等を入力して検索する「ライブファインダー・ウェブ」（2009年4月23日使用開始）による方法と、書名50音順のリストから検索する二つの方法がある。将来的には全てのデータを「ライブファインダー・ウェブ」から検索する方法に統一する。

④Facebook（フェイスブック）

2018年6月15日に運用を開始、図書館の情報発信をしている。

2023年3月31日までの総リーチ数 39,652件

2022年度1年間の総リーチ数 14,207件（対前年度比 5,202件増）

総リーチ数とは当館のFacebook投稿記事の閲覧総人数

⑤Twitter（ツイッター）

2019年6月24日に運用を開始、図書館の情報発信をしている。

2023年3月31日までの総ツイートインプレッション数 364,148件

2022年度1年間のツイートインプレッション数 146,362件（対前年度比 65,448件増）

ツイートインプレッション数とは当館のTwitter投稿記事の閲覧総人数

⑥書庫VR（ヴァーチャルリアリティ）動画リニューアル

当館には、第1書庫から第5書庫まで5つの書庫がある。これらの書庫に保管されている資料を利用者に紹介し、資料の利活用につなげていくため2021年7月公開したVR動画に、さらに移動できる場所を30箇所増加させ、ホームページ内の資料紹介ページへのリンクボタンを30箇所加えるリニューアルを行った。資料紹介ページは順次作成を行う。

2023年3月31日までの総アクセス数 4,630件

2022年度1年間のアクセス数 1,988件（対前年度比 654件減 ※VRからリンクさせているホームページが未完成であることからリニューアルについて告知していないため）

アクセス数はホームページ「蔵書紹介」へのアクセス数

⑦旧大橋図書館創立120周年記念事業講演会

三康図書館は、1887（明治20年）に創業した出版社「博文館」の創業者大橋佐平が設立を志し、息子の新太郎により設立された私立図書館である旧大橋図書館（1902年（明治35）

開館、1953年(昭和28)閉館)の蔵書を継承して発足した図書館である。2022年度は、旧大橋図書館が開館し120年という節目の年であった。この機会により多くの方に旧大橋図書館の歴史や功績、所蔵資料の魅力を伝え、利用につなげる記念事業として講演会を新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、会場とオンライン(Zoomミーティング、YouTube)を併用したハイブリッド形式にて開催した。

開催については、ホームページ、Facebook(フェイスブック)、及びTwitter(ツイッター)にてご案内、さらに大学、研究機関、及び報道機関(仏教タイムス社、中外日報社、東京新聞等)へも事前に案内を送付し、開催案内と発表内容についての記事が掲載された。その結果、オンライン開催が周知され、会場に参加できない方、及びアーカイブ配信を聴講される方など多くの方が参加した。

また、オンラインによる開催で海外在住研究者のリモート講演が実現し、海外からの参加もあった。

開催年月日	題 目	発表者	聴講申込者数
2022年6月25日	「公共図書館の源流 大橋図書館～出版社がつくった図書館～」	奥泉和久氏 (大妻女子大学非常勤講師)	221名(内、会場参加は10名) アーカイブ視聴回数: 249回
2022年7月30日	「江戸時代の料理本の魅力」	山本和明氏 (国文学研究資料館研究部教授/古典籍共同研究事業センター長)	139名(内、会場参加は13名) アーカイブ視聴回数: 155回
2022年11月26日	「三康図書館蔵 方丈記絵巻の世界」	田中幸江氏 (二松學舎大学非常勤講師)	183名(内、会場参加は16名) アーカイブ視聴回数: 228回
2023年1月9日	「「自由空間」としての街路 三康図書館蔵・長谷川雪且《江戸名所図会下絵》にみる近世江戸の都市空間とジェンダー」	安永麻里絵氏 (アムステルダム大学人文学部歴史学科客員研究員)	123名(内、会場参加は5名) アーカイブ視聴回数: 175回

⑧広報活動

多くの方に三康図書館の諸活動や取り組みを紹介するために見学会やメディアへの取材協力、職員が外部講演講師を務めるなど様々な情報発信を行っている。

○見学会

図書館関係者(3回 計31名参加)

○メディア取材・紹介

新聞・テレビ・ラジオ・インターネット等(18回)

○職員外部講演講師・パネラー

中学・大学・図書館・図書館関連セミナー等(6回)

⑨第24回図書館総合展に参加

2022年11月1日～11月30日までオンライン(一部リアル会場)で開催された。

○2022カンファレンスin機械振興会館への参加(11月5日)

機会振興会館(リアル会場)でのイベントでは、「港区図書館の事例報告」として他の港区内にある専門図書館と共に登壇し三康図書館の取り組みについて報告した。基調講演の後に行われたパネルディスカッションにも登壇し、「未来へつなぐーチャレンジと連携」と題して議論を交わした。

○「ポスターセッション」への参加(11月1日～11月30日開催)

利用者が急増している様子がわかるポスターを作成し、図書館総合展特設ページ、及び館内へ掲示を行った。

○サテライト会場への参加(11月1日～11月30日)

サテライト会場は、当館の他35機関が会場となった。参加者はこれらの会場を訪問し、各会場に設置されたスタンプ等を集めるイベントに参加した。

⑩「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画におけるデータベース構築に関する覚書」に基づく貴重資料のデジタル撮影の実施

当法人では、2021年1月20日に大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館(以下国文学研究資料館と記す)と当該覚書を締結した。当館が所蔵する貴重資料のデジタル化を進め、国文学研究資料館ホームページ「新日本古典籍総合データベース」にてデジタルデータを日本、海外へ順次公開する。覚書に基づき、2022年度は所蔵資料の写本(手書きの資料)約1,500点の内、卷子本6点(9軸)、冊子本6点(18冊)、折帖2点(2帖)、1枚もの1点(30枚)を撮影した。

なお、国文学研究資料館におけるデジタルデータ公開時期は2023年8月頃の予定である。

⑪ノベルティグッズの配布

三康図書館の周知と利用者促進を図るため、リングノート(2種類)、クリアファイルをイベントにて配布した。

⑫三康図書館写本資料デジタルデータ作成の実施

当法人所蔵資料の写本(手書きの資料)が、約200点ある。順次デジタルデータを作成し保存するとともにホームページで公開していく。

2022年度は『文壇名家墨蹟』、『文学大家書翰集』等、計4点デジタルデータを作成した。

※参考:2020年度は『江戸名所図会下絵』(2巻)デジタルデータを作成した。

2021年度は『志乃武草』、『博文館記念書翰集』(2巻)デジタルデータを作成した。

⑬「国立国会図書館サーチ(NDLサーチ)」との連携

当法人では、国立国会図書館と2000年12月22日に「国立国会図書館が実施する児童書総合目録事業に関する覚書」を締結、国立国会図書館国際子ども図書館が実施する「児童書総合目録」事業へ参加し、所蔵する児童書データを提供することで、「国立国会図書館サーチ(NDLサーチ)」(以下NDLサーチと記す)にて検索利用されていた。しかしながら、当該事業が2023年3月31日終了に伴い、児童書データの検索が出来なくなることから、新たに、国立国会図書館と「国立国会図書館サーチから「三康図書館蔵書検索」への連携について」(許諾書)を2022年12月16日に取交し、2023年3月13日から児童書をはじめ、児童書以外の分野の資料についてもデータを作成した所蔵資料については、NDLサーチにて検索できるようになった。

7. その他の事業(不動産賃貸事業)
不動産賃貸事業は計画通り推移した。

8. その他の事項

「新型コロナウイルス感染症感染拡大防止」への対応について
詳細は4ページに記載の通り、感染拡大防止に努めた。

II. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

2023年3月31日 現在

理事 6名
監事 2名
評議員 10名

(1) 理事

理事長 小澤 憲 珠(大本山増上寺 法主)
常務理事 奥山 吉 之(元株式会社西武ライオンズ 監査役)
理事 井澤 隆 明(大本山増上寺 執事 教務部長)
宇高 良 哲(三康文化研究所 研究指導員)
四十崎 裕(西武鉄道株式会社 執行役員 管財部長)
山口 正 大(元西武鉄道株式会社 常務取締役)

(2) 監事

袖山 榮 輝(大本山増上寺 執事 財務部長)
福岡 昌 幸(西武鉄道株式会社 執行役員 管理部長)

(3) 評議員

小林 正 道(大本山増上寺 執事長)
伊藤 広 喜(大本山増上寺 執事 施設部長)
赤羽 海 衆(大本山増上寺 執事 総務部長)
友田 達 祐(法伝寺住職)
巖谷 勝 正(祐天寺住職)
青柳 雅 人(西武鉄道株式会社 管理部 課長)
石川 寛(株式会社西武リアルティソリューションズ 常勤監査役)
杉山 雅 樹(西武鉄道株式会社 管財部 課長)
小柳 光 雄(元西武プロパティーズ 常勤監査役)
桑名 健(元西武鉄道株式会社 勤務)

2. 会議に関する事項

開催年月日	会議名	報告事項・決議事項	会議の結果
2022年4月1日	評議員会	決議事項 1. 規程改正について 2. 退任理事への退職慰労金支払いについて 3. 理事の選任について	原案通り承認可決した " "

2022年4月1日	理事会	決議事項 1. 常務理事選任について	原案通り承認可決した
2022年5月17日	理事会	報告事項 1. 職務執行状況について 決議事項 1. 2021年度事業報告書(案)について 2. 2021年度決算報告書(案)について 3. 定時評議員会招集及び提出議案について	原案通り承認可決した " "
2022年6月6日	評議員会	報告事項 1. 2021年度事業報告書について 決議事項 1. 2021年度決算報告書(案)について	原案通り承認可決した
2022年10月11日	理事会	報告事項 1. 職務執行状況について 決議事項 1. 理事・監事の推薦について 2. 臨時評議員会招集及び提出議案について	原案通り承認可決した "
2022年10月28日	評議員会	決議事項 1. 理事・監事・評議員の選任について	原案通り承認可決した
2022年11月1日	理事会	決議事項 1. 代表理事及び理事長選任について	原案通り承認可決した
2023年2月17日	理事会	報告事項 1. 職務執行状況について 2. 2022年度開催公開講座及び講演会について 決議事項 1. 2022年度減価償却引当資産の取り崩しについて 2. 2023年度事業計画(案)について 3. 2023年度事業収支予算(案)について 4. 2023年度設備投資計画(案)について	原案通り承認可決した " " "

以上の通り2022年度事業の概要を報告いたします。

2023年 5月 26日
公益財団法人 三康文化研究所
理事長 小澤 憲 珠